



Sun StorEdge™ 3000 Family Diagnostic Reporter 1.3 ユーザ ガイド

Sun StorEdge 3310 SCSI Array

Sun StorEdge 3510 FC Array

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.
650-960-1300

部品番号 817-2774-11
2003 年 6 月、改訂第 A 版

本書に関するご意見は <http://www.sun.com/hwdocs/feedback> までお寄せください。

Copyright © 2002–2003 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, USA. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. および Dot Hill Systems Corporation は、本製品または文書に含まれる技術に関する知的所有権を所有していることがあります。特に、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に記載される米国特許権が 1 つ以上、あるいは、米国およびその他の国における追加特許権または申請中特許権が 1 つ以上、制限なく含まれている場合があります。

本製品または文書は、その使用、複製配布、およびデコンパイルを制限するライセンスの下に配布されます。Sun およびそのライセンサ（該当する場合）からの書面による事前の許可なく、いかなる手段や形態においても、本製品または文書の全部または一部を複製することを禁じます。

サードパーティ ソフトウェアは、Sun のサブライヤより著作権およびライセンスを受けています。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、米国およびその他の国における登録商標であり、X/Open Company, Ltd. からの独占ライセンスを受けています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Sun StorEdge、AnswerBook2、docs.sun.com、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

米国政府の権利 - 商用。政府内ユーザは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および該当する FAR の条項とその補足条項の対象となります。

本文書は "AS IS (現状のまま)" として提供されるもので、商品性、特定用途の適合性、または非侵害性に対するすべての暗黙的保証を含め、すべての明示的または暗黙的条件、表明、および保証を、そのような放棄が法律上無効とされる場合を除き放棄します。

Copyright © 2002–2003 Dot Hill Systems Corporation, 6305 El Camino Real, Carlsbad, California 92009, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. et Dot Hill Systems Corporation peuvent avoir les droits de propriété intellectuelle relatants à la technologie incorporée dans le produit qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuelle peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Sun StorEdge, AnswerBook2, docs.sun.com, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

序文 v

1. 概要 1

Sun StorEdge Diagnostic Reporter とは 1

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の動作メカニズム 2

2. Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストールと使用 5

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール 6

インストール パッケージ 6

▼ Solaris 動作環境で稼働するシステムに Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには 7

▼ Linux 動作環境で稼働するシステムに Diagnostic Reporter をインストールするには 8

▼ Windows NT および 2000 オペレーティング システムで Diagnostic Reporter をインストールするには 9

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による起動および停止 11

▼ Solaris または Linux 動作環境が稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには 11

▼ Windows NT オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには 11

▼ Windows 2000 オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには 12

Sun StorEdge Diagnostic Reporter 構成のセットアップ 12

- ▼ 構成をセットアップするには 13
- ▼ レポート ツールをセットアップして使用するには 21
- ▼ Mail Receiver Tool をセットアップして使用するには 22

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のアンインストール 23

- ▼ Solaris 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには 23
- ▼ Linux 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには 23
- ▼ Windows NT または Windows 2000 オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには 24

トラブルシューティング 24

序文

本書では、Sun StorEdge Configuration Service の併用ユーティリティとして Sun StorEdge™ Diagnostic Reporter をインストールおよび使用方法について説明します。

本ガイドは、Sun のハードウェアおよびソフトウェア製品の使用に習熟した上級のシステム管理者を対象として書かれています。

本書の構成

本書では次のトピックを扱っています。

第 1 章: Sun StorEdge Diagnostic Reporter の機能を紹介し、その動作について概説します。

第 2 章: Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストール、セットアップ、アンインストールする手順を説明します。

UNIX コマンドの使用

基本的な UNIX® コマンドに関する情報や、システムのシャットダウンと起動、デバイスの構成などの手順は、本文書では説明されていない場合があります。

必要に応じて、以下の文書を参照してください。

- 『Solaris Handbook for Sun Peripherals』
- Solaris™ 動作環境用 AnswerBook2™ オンライン文書
- 各システムに付属のその他のソフトウェア文書

表記規約

書体*	意味	例
AaBbCc123	コマンド、ファイル、ディレクトリの名前。画面に表示されるコンピュータ出力。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使って、全ファイルを一覧表示します。 % You have mail.
AaBbCc123	画面上のコンピュータ出力と区別し、ユーザが入力する内容。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	書名、新しい用語、語句の強調。コマンドライン変数に対して入力する実際の名前または値。	『ユーザ ガイド』の第 6 章を参照してください。 これらは クラス オプションと呼ばれません。 この操作を行うには、スーパーユーザでなければなりません。 ファイルを削除するには、rm ファイル名 と入力します。

* これらの書体は、使用しているブラウザの設定により異なる場合があります。

シェル プロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	<i>machine-name%</i>
C シェルのスーパーユーザ	<i>machine-name#</i>
Bourne シェルと Korn シェル	\$
Bourne シェルと Korn シェルのスーパーユーザ	#

関連マニュアル

製品名	タイトル	部品番号
Sun StorEdge 3310 SCSI アレイのみ	『Sun StorEdge 3310 SCSI Array リリース ノート』	816-7292
	『Sun StorEdge 3000 Family 最適使用法マニュアル』	817-2989
	『Sun StorEdge 3000 Family RAID ファームウェア 3.25 ユーザ ガイド』	816-7966
	『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービス マニュアル』	816-2958
Sun StorEdge 3510 FC アレイのみ	『Sun StorEdge 3510 FC Array リリース ノート』	817-2777
	『Sun StorEdge 3000 Family 最適使用法マニュアル』	817-2761
	『Sun StorEdge 3000 Family RAID ファームウェア 3.27 ユーザ ガイド』	817-2764
	『Sun StorEdge 3000 Family 導入・運用・サービス マニュアル』	817-2758
Sun StorEdge 3310 SCSI アレイと Sun StorEdge 3510 FC アレイの両方	『Sun StorEdge 3000 Configuration Service 1.3 ユーザ ガイド』	817-2771
	『Sun StorEdge 3000 Family ラック インストール ガイド』	817-2768
	『Sun StorEdge 3000 Family FRU インストール ガイド』	817-2765
	『Sun StorEdge 3000 Family Safety, Regulatory, and Compliance Manual』	816-7930

テクニカル サポート

最新の技術情報やトラブルシューティングに関するヒントは、ご使用のアレイのリリース ノートを、次の適切なディレクトリから入手してください。

www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Workgroup/

本製品に関する技術的な疑問で、本書で回答が得られないものについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

アメリカでのサービス リクエストの開始またはお問い合わせは、次の Sun サポートにご連絡ください。

800-USA4SUN

国際テクニカル サポートについては、次のサイトから該当国のセールス オフィスにご連絡ください。

www.sun.com/service/contacting/sales.html

Sun 文書へのアクセス

Sun StorEdge 3000 FC Family に関する文書はすべて、PDF 形式および HTML 形式で、次の URL からオンラインで入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Workgroup/

広範な Sun 文書類は、次のサイトから表示、印刷、または購入することができます。

<http://www.sun.com/documentation>

Sun StorEdge 3000 Family マニュアルの印刷版は、次のサイトからご注文になれます。

<http://corppub.iuniverse.com/marketplace/sun>

508 アクセシビリティ機能

Sun StorEdge 文書は、視覚障害を持つ方の支援テクノロジー プログラムと共に使用できる、508 条に準拠した HTML ファイルで入手できます。これらのファイルは、使用する製品の文書 CD に収められているほか、前述の「Sun 文書へのアクセス」に記載されている Web サイトでも入手できます。さらに、ソフトウェア アプリケーションとファームウェア アプリケーションではキーボード ナビゲーションとショートカットも使用可能です。これらに関する説明はユーザ ガイドに記載されています。

本書に対するご意見

Sun では、よりよいマニュアル作成のため、皆様からのご意見やご提案を歓迎します。コメントがありましたら下記へお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、下記に示すご使用のマニュアルのタイトルと部品番号をお書き添えください。『Sun StorEdge 3000 Family Diagnostic Reporter 1.3 ユーザ ガイド』、部品番号 817-2774-11

第1章

概要

この章では Sun StorEdge Diagnostic Reporter の機能を紹介します。この章には以下の項目が含まれます。

- 1 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter とは」
 - 2 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter の動作メカニズム」
-

Sun StorEdge Diagnostic Reporter とは

Sun StorEdge Configuration Service コンソールをフォアグラウンドで常時実行する代わりに、併用ユーティリティである Sun StorEdge Diagnostic Reporter を使用することができます。このユーティリティはバックグラウンド サービスとして実行され、指定された電子メール アドレスにホストおよびアレイからのメッセージを送信します。Sun StorEdge Diagnostic Reporter は以下の機能を提供します。

- 送信されるメッセージ トラップの種類を指定する
- 送信されるメッセージのタイミングを指定する
- 暗号化されたメッセージを送信する
- Mail Receiver Tool でメッセージを受信し、暗号化されたメッセージを解読する（受信側のコンピュータに Microsoft Outlook などのプログラムがない場合に電子メール表示プログラムとして機能する）

Sun StorEdge Diagnostic Reporter をストレージ データ ネットワーク全体で使用するには、制御用 Sun StorEdge Configuration Service エージェントを持つ各コンピュータ上にこのユーティリティをサービスとしてインストールします（制御用エージェントは、特定のアレイと通信する唯一のエージェントです）。

すべてのホスト コンピュータに Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールすることの主な利点は、各コンピュータに定期的に信号を送信して、ホストに障害が発生した際に、指定された電子メール アドレスに Configuration Service エージェントから一点故障メッセージを送信するように設定できることです。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter は、以下のコンポーネントから構成されます。

- Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェント (デーモン) – Diagnostic Reporter がインストールされたコンピュータ上で常時バックグラウンドで動作します。このデーモンは、Sun StorEdge Configuration Service が動作しているどのコンピュータにでもインストールし、使用できます。
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter Config Tool (UI) – アラートまたは情報として特定の電子メール アドレスに送信されるメッセージ トラップと Configuration Service エージェントに送信されるメッセージトラップの種類を設定するユーティリティです。UI (ユーザ インタフェース) とも呼ばれます。
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter Mail Receiver Tool – 収集したメッセージを表示します。POP3 Mail Receiver とも呼ばれます。

注 – Sun StorEdge Configuration Service で必ず電子メールを受信するようにするには、トラップの設定方法について、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザ ガイド』の付録「電子メールと SNMP」を参照してください。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の動作メカニズム

Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続されたあと、Sun StorEdge Diagnostic Reporter はエージェントからのすべてのイベントを受信します。TRAP 条件が指定されているイベントの場合、そのイベントは Sun StorEdge Diagnostic Reporter からユーザ指定の電子メール アドレスに送信されます。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter がエージェントに接続できない場合やエージェントがオフラインの場合、Diagnostic Reporter は 5 分おきにそのエージェントの発見を試みます。これは、トラフィックが多い場合に Sun StorEdge Diagnostic Reporter がエージェントから切断されるのを防ぐためです。

一般的なセットアップを示す 図 1-1 では、アレイ ホスト (コンピュータ #1、#2、#3) がアレイ デバイス (それぞれ #A、#B、#C) に使用されています。各ホストには Sun StorEdge Configuration Service エージェントと Sun StorEdge Diagnostic Reporter デーモンがインストールされています。各 Sun StorEdge Diagnostic Reporter デーモンは、イベント メッセージを任意の電子メール アドレス (コンピュータ #5 として示され、Mail Receiver Tool でメッセージをダウンロードします) に送信するように、Config Tool を使って設定できます。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter Config Tool と Sun StorEdge Configuration Service コンソールはネットワーク上のどのコンピュータにでも配置できますが、ここでは単に便宜のためコンピュータ #4 に配置されています。

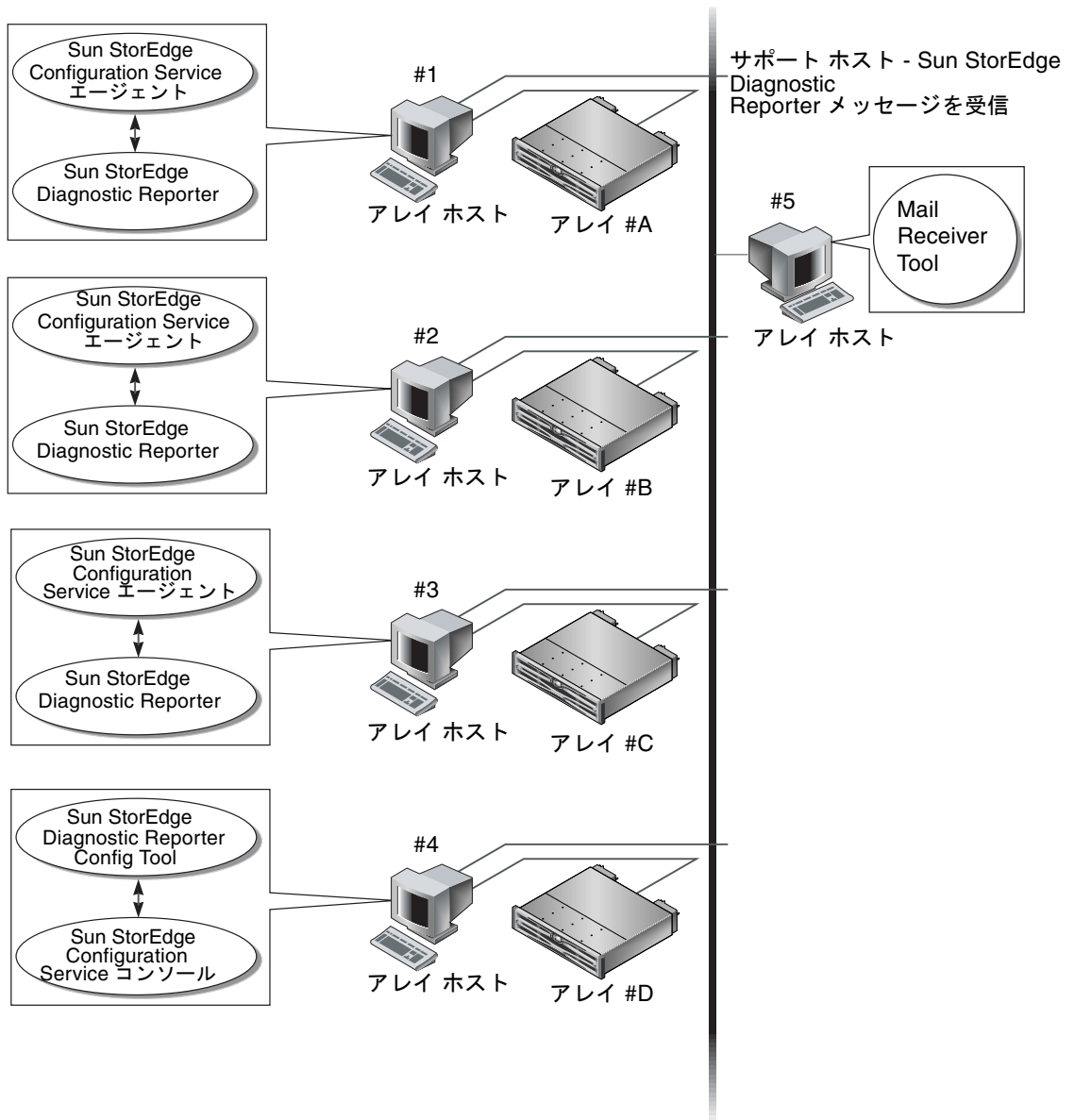


図 1-1 Sun StorEdge Diagnostic Reporter の一般的なセットアップ

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストールと使用

この章では、Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストールと使用方法について説明し、レポート ツールと Mail Receiver Tool についても説明します。この章には以下の項目が含まれます。

- 6 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール」
 - 7 ページの「Solaris 動作環境で稼働するシステムに Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには」
 - 8 ページの「Linux 動作環境で稼働するシステムに Diagnostic Reporter をインストールするには」
 - 9 ページの「Windows NT および 2000 オペレーティング システムで Diagnostic Reporter をインストールするには」
- 11 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による起動および停止」
 - 11 ページの「Solaris または Linux 動作環境が稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには」
 - 11 ページの「Windows NT オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには」
 - 12 ページの「Windows 2000 オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには」
- 12 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter 構成のセットアップ」
 - 13 ページの「構成をセットアップするには」
 - 21 ページの「レポート ツールをセットアップして使用するには」
 - 22 ページの「Mail Receiver Tool をセットアップして使用するには」
- 23 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter のアンインストール」
 - 23 ページの「Solaris 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには」
 - 23 ページの「Linux 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには」
 - 24 ページの「Windows NT または Windows 2000 オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには」
- 24 ページの「トラブルシューティング」

Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール

このセクションでは、インストール パッケージの内容を紹介し、Sun StorEdge Diagnostic Reporter のインストール手順について説明します。

インストール パッケージ

インストール パッケージは、Sun StorEdge 3000 Family Storage Manager CD に収められています。このパッケージには、Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool (UI) 用に以下のファイルが含まれています。

注 - フランス語、日本語、および中国語（簡体字）の言語サポートは、Solaris 動作環境でのみ提供されます。これらの言語で使用するには、Sun StorEdge エージェントおよび Config Tool の英語版インストール パッケージが必要です。

表 2-1 Solaris 動作環境に必要な Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストール パッケージ

	英語	フランス語	日本語	中国語（簡体字）
エージェント	SUNWscsa	SUNWscsa SUNwfscs	SUNWscsa SUNWjscs	SUNWscsa SUNWcscs
Config Tool (UI)	SUNWscui	SUNWscui SUNWfscui	SUNWscui SUNWjscui	SUNWscui SUNWcscui

Linux 動作環境

- SUNWscsa.rpm - エージェント
- SUNWscui.rpm - Config Tool (UI)

Microsoft Windows オペレーティング システム

- setup.exe - エージェントおよび Config Tool (UI)

▼ Solaris 動作環境で稼働するシステムに Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

注 – Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime Environment 1.2 以降がインストールされていることを確認してください。

注 – フランス語、日本語、または中国語（簡体字）の言語サポートを追加する場合は、英語版のパッケージを**最初に**インストールする必要があります。

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには、スーパーユーザの特権が必要です。

1. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/product/solaris
```

2. エージェント（英語版）をインストールする場合は、次のように入力します。

```
# pkgadd -d SUNWscsa
```

フランス語、日本語、中国語（簡体字）の言語サポートを追加する場合は、次のように入力します。

```
# pkgadd -d SUNW $x$ scs
```

x は、インストールする言語に応じて、c、j、または f のいずれかになります。パッケージ名については、6 ページの「Solaris 動作環境に必要な Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストール パッケージ」を参照してください。

3. Config Tool (UI) (英語版) をインストールするには、次のように入力します。

```
# pkgadd -d SUNWscui
```

フランス語、日本語、中国語 (簡体字) の言語サポートを追加する場合は、次のように入力します。

```
# pkgadd -d SUNW $x$ scui
```

x は、インストールする言語に応じて、c、j、または f のいずれかになります。パッケージ名については、6 ページの「Solaris 動作環境に必要な Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストール パッケージ」を参照してください。

4. 標準インストール プロンプトのそれぞれに対して、適切な応答を入力します。

インストール プロンプトは、インストールするパッケージの選択と、(スーパーユーザ特権での) スクリプトの処理方法に関する標準の pkgadd -d プロンプトです。

5. インストール手順が完了したら、再起動してドライバとサーバ デーモンを起動します。

ソフトウェアは次のディレクトリにインストールされます。

- /opt/SUNWsscsc/ssdiagreporterd
- /opt/SUNWsscsc/ssdiagreporterui

▼ Linux 動作環境で稼働するシステムに Diagnostic Reporter をインストールするには

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

注 – Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime Environment 1.2 以降がインストールされていることを確認してください。

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには、スーパーユーザの特権が必要です。

1. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、次のように入力します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/product/linux
```

2. エージェントをインストールするには、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscsa.rpm
```

Config Tool (UI) をインストールするには、次のように入力します。

```
# rpm -ivh SUNWscui.rpm
```

3. インストール手順を完了すると、エージェントは自動的に起動します。

ソフトウェアは次のディレクトリにインストールされます。

- /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterd
- /opt/SUNWsscs/ssdiagreporterui

▼ Windows NT および 2000 オペレーティング システムで Diagnostic Reporter をインストールするには

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter エージェントおよび Config Tool をインストールする前に、Sun StorEdge Configuration Service エージェントをインストールする必要があります。

注 – Sun StorEdge Configuration Service のインストール先のコンピュータまたはワークステーション上に Java Runtime Environment 1.2 以降がインストールされていることを確認してください。

注 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter をインストールするには、管理者の特権が必要です。

1. ソフトウェア インストール ユーティリティ機能が最適に動作するように、動作中のすべての Windows アプリケーションを終了します。

2. Sun StorEdge 3000 Family Professional Storage Manager CD を挿入し、
 \product\windows にディレクトリ変更します。
3. setup.exe をダブルクリックして、SUNWsscs Diag Reporter を選択します。
4. Choose Destination Location ウィンドウで、デフォルトのフォルダ (C:\Program Files\Sun\ssdgrpt) にインストールし、Next をクリックします。
 別のフォルダにインストールするには、Browse をクリックしてそのフォルダを選択し、Next をクリックします。
5. 次のウィンドウが表示されたら、Full Installation をクリックして Next をクリックします。
 - Full Installation – 3 つのソフトウェア コンポーネント (Service、Config Tool、Mail Receiver Tool) をインストールします。
 - Service Installation – バックグラウンドの Service ソフトウェアだけをインストールします。Service 機能は Config Tool からリモートで設定できます。
 - UI Installation – Config Tool と Mail Receiver Tool だけをインストールします (Service は除く)。

注 – 管理者特権を持っていない場合や、必要な Java Runtime Environment がインストールされていない場合は、Sun StorEdge Diagnostic Reporter Service が実行されていないか異常終了中であるというエラー メッセージが表示され、インストールを完了することはできません。

6. コンポーネントがすべてインストールされたら、Finish をクリックしてインストールを完了します。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の 手動による起動および停止

次のセクションでは、Sun StorEdge Diagnostic Reporter を手動で起動および停止する方法を説明します。

▼ Solaris または Linux 動作環境が稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには

注 - エージェント（デーモン）を起動 / 停止するには、スーパーユーザの特権が必要です。

1. エージェントを起動するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssdgrptd start
```

2. エージェントを停止するには、次のように入力します。

```
# /etc/init.d/ssdgrptd stop
```

▼ Windows NT オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには

注 - エージェント（デーモン）を起動 / 停止するには、管理者の特権が必要です。

エージェント ソフトウェアをサーバ上で起動するには、サーバをリブートするか、Diagnostic Reporter Service を設定→コントロールパネル →サービスから起動する必要があります。

Sun StorEdge Configuration Service エージェントを停止するには、設定→コントロール パネル→サービスにアクセスし、停止するエージェントを選択して停止をクリックします。

▼ Windows 2000 オペレーティング システムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動および停止するには

注 - エージェント（デーモン）を起動 / 停止するには、管理者の特権が必要です。

1. エージェント ソフトウェアをサーバ上で起動するには、スタート→Administrative Services→コンピュータの管理を選択します。
2. サービスとアプリケーションをクリックします。
3. Sun StorEdge Diagnostic Reporter Server を選択し、起動または停止するサービスを右クリックします。

別の方法として、スタート→設定→コントロール パネル→管理ツール→コンピュータの管理を使用することもできます。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter 構成のセットアップ

Config ユーティリティのインスタンスは一度に 1 つだけ開くことができます。構成情報は `ssdgrpt_cfg.xml` という名前のファイルに保存されます。

注 - 構成の変更をサービスに実装するには、Sun StorEdge Diagnostic Reporter サーバに接続した状態で、変更を終えた後に **Save Configuration** をクリックする必要があります。

▼ 構成をセットアップするには

1. Sun StorEdge Diagnostic Reporter を起動します。
Solaris/Linux 動作環境では、次のように入力します。

```
# ssdgrptui
```

Windows NT/2000 オペレーティング システムでは、スタート→プログラム→ Sun StorEdge 3000 Family → Diagnostic Reporter Config Tool を選択します。

以前にデーモンを設定し、接続したことがある場合、Config Tool は最後に使用されたサーバに自動的に接続します。

2. 初めてのインストールの場合は、まず Config Tool と、デーモンが実行されるサーバとの接続をセットアップする必要があります。
 - a. サーバ接続を作成するため、Servers → Server List Setup を選択します。
 - b. Server List Configure ダイアログボックスで、Add をクリックし、デーモンのサーバ名と IP アドレスを入力します。
 - c. デフォルトのポート番号をそのまま使用します（この番号は自動的に表示され、Config Tool (UI) でデーモンと通信するために使用されます）。
 - d. サーバの `ssconfig` ログイン パスワードを入力します。

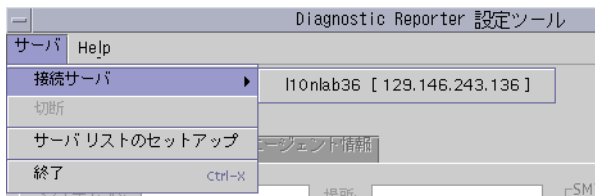
これは、Sun StorEdge Configuration Service のインストール時に設定したログイン パスワードと同じものです。このパスワードがまだ設定されていない場合は、先へ進む前にそれを設定する必要があります。詳細は、『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザ ガイド』を参照してください。
 - e. Apply をクリックします。



サーバ名と IP アドレスが **Server List** に表示されます。Config Tool は複数のサーバにアクセスできますが、一度に接続できるのは、1 つのサーバと 1 つのサービスだけです。

各サーバのパスワードを指定しなかった場合、サーバに接続するたびにパスワードの入力を求められます。

3. Close をクリックします。
4. サーバに接続するには、Servers → Connect Servers を選択して、表示されるリストから希望のサーバを選択します。



5. Basic Information タブをクリックし、電子メール サーバとイベント メッセージで使用される情報を入力します。

The screenshot shows the 'Diagnostic Reporter 設定ツール' (Diagnostic Reporter Configuration Tool) window. The title bar indicates it is for 'サーバ' (Server) and includes a 'Help' button. The main window title is 'Diagnostic Reporter サーバ I10nlab36 [129.146.243.136] の情報'. Below the title, there are three tabs: '基本情報' (Basic Information), 'トラップ情報' (Trap Information), and 'SSCS エージェント情報' (SSCS Agent Information). The '基本情報' tab is active. It contains several input fields: 'システム ID' (System ID) with 'SunEdge', '場所' (Location) with 'Rack 5', '名前' (Name) with 'Customer', '電話番号' (Phone Number) with '555-1212', 'Fax' with '555-1212', and '住所' (Address) with '1000 Customer Way'. There is also a 'メモ' (Memo) text area. On the right side, there is a section for 'SMTP 情報' (SMTP Information) with 'SMTP サーバ' (SMTP Server) set to '206.6.181.71' and '送信元' (Sender) set to 'support@sun.com'. Below this is a checkbox for 'SMTP サーバでは認証が必要' (Authentication required for SMTP server), which is unchecked. Underneath is a section for 'SMTP サーバの認証情報' (SMTP server authentication information) with fields for 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). At the bottom of the window, there are four buttons: 'SSCS エージェントのプローブ' (Probe SSCS Agent), '設定を保存します' (Save Settings), '閉じる' (Close), and 'ヘルプ' (Help).

- System ID と Location – サービスが常駐するサーバを説明するフィールド。
 - Customer Information と Contact Information – イベント電子メールに添付する情報を指定します。イベント メッセージを複数の電子メール アドレスに配信する場合に便利です。
 - SMTP Server – Sun StorEdge Diagnostic Reporter が電子メールの送信に使用する IP アドレスまたはドメイン名。無効なアドレス（またはドメイン名）を入力すると、Sun StorEdge Diagnostic Reporter はそれを見つけないことができないため、メール メッセージが送信されません。SMTP サーバで認証が必要とされる場合、SMTP サーバへのログインに必要な情報を入力する必要があります。
6. From フィールドは、次の形式を使って設定します。

`name@domain`

7. 報告されるトラップメッセージを指定するには、Trap Information タブをクリックして Add をクリックします。

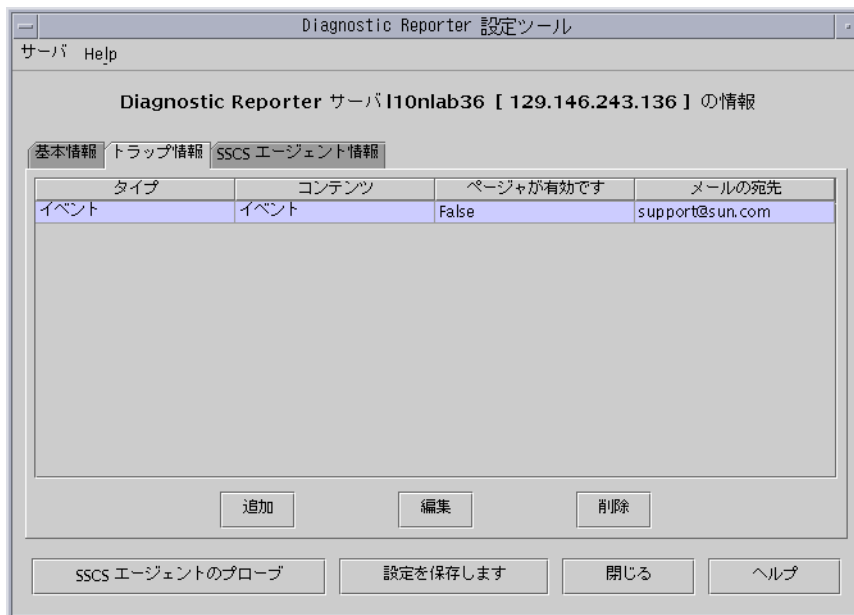
Add one Trap ダイアログボックスで、希望のパラメータを選択します。

少なくとも、トラップ イベントを 1 つ選択し、メールとメールの最小間隔を入力し、電子メール アドレスを 1 つ入力してください。複数の電子メール アドレスを入力するには、各アドレスをスペース、コンマ、またはセミコロンで区切ります。

表 2-2 トラップ情報パラメータ

パラメータ	値 / 説明
Content	電子メール本文に含める情報を指定します。指定値: all/ event /log /report /hosteventlog イベント トラップを選択し、最小間隔が 0 または * である場合、Content は Event でなければなりません。 Periodic trap を選択する場合は、Content が Event であってはなりません。
Trap type	トラップ タイプに、Property of event type trap (イベント型トラップ) または Property of periodic trap (定期トラップ) を選択します。
Minimum interval between mails	イベント型トラップ用の電子メールと電子メールの間隔として、以下の希望の値を指定します。 * - イベントが発生すると必ず報告します。 HH:MM - 時間間隔内で最後に配信されたイベント メッセージを報告する時間を 24 時間形式の「時:分」で指定します。 例: 16:30 = 4:30PM 注: HH:MM 形式をかならず使用してください。たとえば、24 時間ごとの時間間隔を設定する場合は、24:00 にします。コロンも忘れずに含めてください。
Active trap events	イベント型トラップは、イベントの 3 つの種類から選択してアクティブにすることができます。
Periodic trap type	crontab 形式を使い、電子メールの送信時間を次のように指定します。 minute (0~59 分) hour (0~23時) day of month (1~31 日) month (1~12 月) day of week (0~6、0=日曜)
チェックボックス – use encrypt	チェックマークを付けた場合、暗号化された電子メールが送信されません。Sun に送信される電子メールを暗号化するには、use encrypt にチェックマークを付けます。暗号キー (encrypt key) は、イベントメッセージをダウンロードするときに表示される (オプションの) 識別子です。
チェックボックス – pager enabled	ページャ対応のメール アドレスにメールを送信するには、このボックスにチェックマークを付け、メールの件名を Subject for Pager に入力します。このメールに内容を何も含めない場合は、no content を選択します。
チェックボックス – no content	
mail to:	このメールの電子メール アドレスを指定します。複数のメール アドレスは、" ", ";", または ";" で区切って指定します。

次の例では、すべてのイベントが選択され、support@sun.com に送信されます。



8. Sun StorEdge Diagnostic Reporter は一度に複数の Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続できます。

1 以上の Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続するには、SSCS Agent Information タブをクリックし、Add をクリックします。



各 Sun StorEdge Configuration Service エージェントについて、Agent Name、Agent IP Address、Port、およびそのエージェントにアクセスする `ssconfig` ユーザの Password を指定します。

- **Agent Name** – 電子メールに含める名前。実際のマシン ホスト名または別名を指定できます。
- **Port** – Sun StorEdge Configuration Service エージェントのリスナー ポート番号。デフォルト値の 1270 をそのまま使用します（ほかの有効な値は 1271、1272、1273）。エージェントに接続できない場合は、この値を変更してから再試行してください。
- **Password** – `ssconfig` ユーザのパスワード。Sun StorEdge Diagnostic Reporter デーモンが Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続するには、先にサービスによって `ssconfig` ユーザの正しいパスワードが提供されなければなりません。

エージェントのパラメータを入力した後、変更をキャンセルするには Discard をクリックし、この構成を保存するには Apply をクリックします。エージェント リストにある各エージェントは、指定されたイベント メッセージをこの構成が保存されている Sun StorEdge Diagnostic Reporter Service に送信します。

9. 構成を作成または編集した後、メイン ウィンドウで Save Configuration をクリックして、構成を Sun StorEdge Diagnostic Reporter に保存します。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter Service が再起動し、構成ファイルの再読み取りを行います。

10. ある時点における各エージェントの現在のステータスを見るには、メイン ウィンドウで Probe Configuration Service Agent をクリックします。

Agent Information ウィンドウに色付きのステータス ボタンが表示され、各エージェント サーバ上の Sun StorEdge Configuration Service エージェントで Sun StorEdge Diagnostic Reporter Service がアクティブであるかどうか示されます。

- 赤 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter が Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続できません。
- 黄色 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter が Sun StorEdge Configuration Service エージェントを検索中です。
- 緑 – Sun StorEdge Diagnostic Reporter が Sun StorEdge Configuration Service エージェントに接続しています。
- なし – Sun StorEdge Configuration Service エージェントの情報が保存されていません。

このボタンの色とテキストは、20 秒おきに変化します。

▼ レポート ツールをセットアップして使用するには

Solaris 動作環境のシステムでは、レポート機能により、ローカル接続されたすべてのアレイの構成が含まれるレポートを生成できます。

1. ローカル接続されたアレイを監視するローカル ホストを設定します。
 - a. Sun StorEdge Configuration Service メイン ウィンドウで、Array Administration → Controller Assignment を選択します。
Assign Server to Manage a RAID Controller ウィンドウが表示されます。
 - b. Server to manage this controller リストからサーバを選択し、Apply をクリックします。
これにより、選択したサーバがアレイ コントローラを管理するようになります。同時に、リスト内のほかの全サーバがこのアレイを管理できなくなります。
 - c. Close をクリックして、この表示を閉じます。
2. 次のように入力して、ローカル サーバを `ssdgrcli.cfg` ファイルに追加します。

```
# /usr/sbin/ssdgrptd -c -s password@ip address
```

`ssconfig` パスワードの入力を求められます。

3. 次のコマンドを実行して、レポートを生成します。

```
# /usr/sbin/ssdgrptd -r
```

▼ Mail Receiver Tool をセットアップして使用する には

Mail Receiver Tool はオプションのツールで、通常の電子メール アプリケーションの代わりに使用できます。暗号化されていない電子メールと暗号化された電子メールを送受信できます。

1. Mail Receiver Tool を起動します。

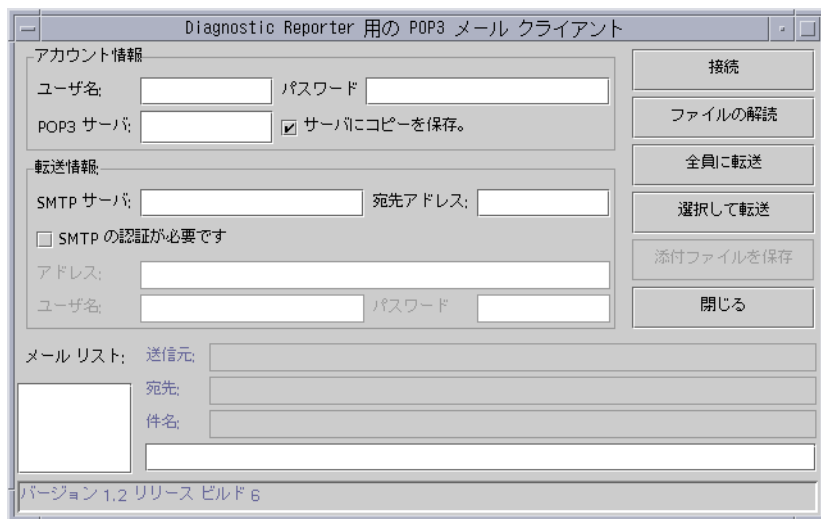
Solaris 動作環境または Linux 動作環境では次のように入力します。

```
# ssdgrptpop
```

Windows NT または Windows 2000 オペレーティング システムでは、スタート→プログラム→Sun StorEdge 3000 Family → Diagnostic Reporter Mail Receiver Tool を選択します。

2. POP3 Mail Receiver ウィンドウで、イベント メッセージ送信先の UserName、Password、および電子メール サーバの IP アドレス (POP Server) を指定します。

必要であれば、SMTP 情報も指定します。



a. イベント メッセージを受信するには、Connect をクリックします。

b. 暗号解読が必要な場合は、Decrypt File をクリックします。

- c. イベント情報やアラートをほかのユーザにも送信するには、Forward All（すべて転送）または Forward Selected（選択して転送）をクリックし、宛先アドレスを指定します。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter の アンインストール

次のセクションでは、Sun StorEdge Diagnostic Reporter を手動でアンインストールする方法を説明します。

▼ Solaris 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには

注 - フランス語、日本語、または中国語（簡体字）の言語サポートを追加した場合は、英語版のパッケージをアンインストールする *前*にそれらをインストールする必要があります。

パッケージ名を指定して `pkgrm` コマンドを使用し、Sun StorEdge Diagnostic Reporter の 1 つまたは両方のコンポーネントを削除します。パッケージ名については、6 ページの「Solaris 動作環境に必要な Sun StorEdge Diagnostic Reporter インストールパッケージ」を参照してください。

▼ Linux 動作環境で稼働するシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには

パッケージ名を指定して `rpm -e` コマンドを使用し、Sun StorEdge Diagnostic Reporter の 1 つまたは両方のコンポーネントを削除します。

- SUNWscsa.rpm - エージェント
- SUNWscui.rpm - Config Tool (UI)

▼ Windows NT または Windows 2000 オペレーティングシステムで Sun StorEdge Diagnostic Reporter をアンインストールするには

Sun StorEdge Diagnostic Reporter を Windows コンソールから削除するには、Windows のアプリケーションの追加と削除ユーティリティを使用してください。

1. スタート→設定→コントロール パネル→アプリケーションの追加と削除にアクセスします。
2. Sun StorEdge Diagnostic Reporter アプリケーションを選択し、追加と削除を選択します。

Windows のプロンプトに対して適切に答えます。

トラブルシューティング

注 - エラー メッセージとプロンプトの一覧については、使用しているアレイ用の『Sun StorEdge 3000 Family Configuration Service ユーザ ガイド』の付録「エラーコードとメッセージ」を参照してください。

Sun StorEdge Diagnostic Reporter から電子メールを受け取らなくなった場合、Sun StorEdge Diagnostic Reporter が動作を停止した可能性があるため、停止してから再起動する必要があります。

(Solaris 動作環境) 次の 3 つの場合に、Sun StorEdge Diagnostic Reporter が動作を停止し、その状態を報告しなくなることがあります。対応策は、Sun StorEdge Diagnostic Reporter を停止して再起動することです。手順については、11 ページの「Sun StorEdge Diagnostic Reporter の手動による起動および停止」を参照してください。

- Sun StorEdge Configuration Service エージェントを、異常停止後または意図的な停止後に再起動すると、Sun StorEdge Diagnostic Reporter が停止する。
- Sun StorEdge Diagnostic Reporter Config Tool の実行中に停止したデーモンを再起動すると、Config Tool がこのデーモンと通信不能になることがある。
- Sun StorEdge Configuration Service エージェントが異常停止した場合、または意図的に停止させた場合、Sun StorEdge Diagnostic Reporter デーモンがこれを検出せず、電子メールの送信は中止するが、Sun StorEdge Diagnostic Reporter が接続状態にあることを示す緑色のステータスを表示し続ける。